

2020 年 10 月 1 日

学習院大学国際社会科学部
学習院大学アドミッションセンター

学習院大学国際社会科学部「学校推薦型選抜（公募制）」及び「総合型選抜（AO）」
―「学生募集要項」への補足説明―

令和 3（2021）年度「学生募集要項」の 12 ページに記載している、「英語によるオンライン論述試験」について補足説明します。学校推薦型選抜（公募制）又は総合型選抜（AO）で当学部への入学を志す皆さんは、学生募集要項とともに下記を確認した上で出願、受験に臨んでください。

記

1. 英語によるオンライン論述試験の実施決定の経緯

「英語によるオンライン論述試験」（以下、「論述試験」と記載。）は、新型コロナウイルス感染症への不安、コロナ禍による日本国への渡航制限、ネット環境等の諸問題から受験機会を逸することのないよう最も有効で実現可能な手段を考慮した結果、行うことになりました。

なお、選考は、「学生募集要項」11 ページ末尾に記載のとおり、論述試験と出願時に提出した書類等を合わせて総合的に行います。

2. 注意事項

- ① 論述試験への対策として、「学生募集要項」の 2 ページに記載の「アドミッションポリシー」、3 ページに記載の「評価項目」、「趣旨」を読んで受験に備えてください。
- ② 受験する場所として最も考えられるのは自宅ですが、通信環境に不安がある等の事情があれば自宅以外で受験しても構いません（例：学校の施設を借りる等）。Web 上に掲載される問題・解答用紙のダウンロードができ、出願時に登録したメールアドレスから解答を送信することができる環境で受験してください。
- ③ 解答を作成するには、辞書（紙媒体・インターネットで利用できるもの）、本、資料（インターネットで検索できるものを含む）を参照しても構いません。

ただし、受験者単独で解答してください。解答の作成方法や内容について周りの人と相談する、SNS やナレッジコミュニティ等のインターネットサイトやメールで情報交換をする、翻訳ソフトを使用する等、他者を関与させることは不正行為に該当します。本や資料を解答の参考にした場合や、それらに書かれている文章を引用する場合は、出典を記載する必要があります。出典の記載方法は別紙にて説明していますので事前

に確認してください。出典を記載せずに他者の文章をコピーしたり一部を変えたりして、自分が書いたように見せかけることは不正行為に該当します。なお、出典の記載は解答の作成時間には含みますが、解答制限の 500 単語 (words) には含みません。

- ④ 質問は試験前日 (11/13) の正午 (日本時間 12:00) まで受け付けます。
問題や解答作成に関する試験時間内の質問は受け付けません。
- ⑤ 解答に不正行為が認められた場合は入学資格を失います。
- ⑥ 試験時間中にトラブルが発生した場合は、すぐに下記まで電話にて連絡し、事象を説明の上、指示に従ってください。連絡・指示の時間は解答時間に含めます。

トラブル発生時の連絡先

学習院大学国際社会科学部事務室 03-5992-9253

以上

2020 年 10 月 1 日
学習院大学国際社会科学部

出典・参考資料の記載方法について

令和 3（2021）年度学習院大学国際社会科学部「学校推薦型選抜（公募制）」及び「総合型選抜（AO）」で実施する英語によるオンライン論述試験で、本や資料の文章を引用したり、解答の参考にした場合のみ必要となる、出典と参考資料の記載方法について説明します。

下記を確認した上で出願、受験に臨んでください。

記

1. 出典の作成・記載時間は試験時間（3 時間）に含みます。

解答制限の 500 単語（words）に引用部分は含みますが、出典は含みません。

2. 受験生が出典と参考資料の記載方法について受けている指導が、国・地域・在籍校それぞれで一定ではないことに鑑み、本試験においては出典と参考資料を、下記の簡易的な記載方法で認めることとします。

- ①引用部分を鉤カッコでくくり、下線を引いてください。
- ②引用部分の最後に、丸カッコでアスタリスクと、引用の順番に番号を記載してください。
- ③引用は、原文に忠実に、厳密に正確に行ってください。
- ④出典は、論述解答の最後尾にまとめて、引用ごとに、

＊

番号

：

著書名（巻数・号数を含む）、または URL

丸カッコで、出版社名、またはサイト運営主体名

以上を記載してください。

著者名・発行年・ページ数・最終アクセス日は省略してもかまいません。

- ⑤出典の記載は、著書名・サイト名と同じ言語で記載してください。（日本語の著書・サイトであれば、出典も日本語。英語の著書・サイトであれば、出典も英語）。
- ⑥本や資料から文章は引用しないが解答の参考とした場合は、出典の記載の後に、

参考資料として、

著書名（巻数・号数を含む）、または URL

丸カッコで、出版社名、またはサイト運営主体名

以上を記載してください。

3.記載例を示します。

3-1 引用が著書の場合

3-1-1 引用部分の記載例

「Preliminary analysis was presented in 2018 but data collection will continue through 2020 or longer.」（＊1）

3-1-2 出典部分の記載例

＊1：学習院大学 ISS 年報 2018 年度の活動報告（学習院大学国際社会科学部学会運営委員会）

3-2 引用が Web サイトの場合

3-2-1 引用部分の記載例

「The students are expected to learn how to analyze and understand the underlying mechanisms of several social phenomenon in international society.」（＊2）

3-2-2 出典部分の記載例

＊2：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/iss/en/program/features.html>
（Faculty of International Social Sciences, Gakushuin University）

3-3 参考資料を記載する場合

未来がつくる広告 2020: 循環型情報社会のマーケティング・コミュニケーション（公益財団法人吉田秀雄記念事業財団）
はじめてのマーケティング（有斐閣）

以上